

小学校 第1学年 道徳科 学習指導案

新潟青陵大学
中野 啓明

主題名 わがままをしないで——「かぼちゃのつる」（1時間）

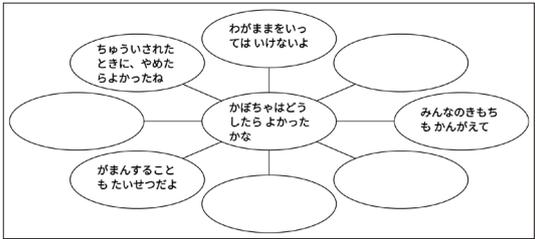
内容項目 A 節度、節制

教材（本時）のねらい かぼちゃがしたことについて考えることをとおして、わがままや自分勝手な行動をしないで、よく考え、節度ある生活を送ろうとする判断力を育てる。

指導時期 6月

本時の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」の初期画面を開いてコンテンツを起動する。 <p>つるを伸ばしたかぼちゃのことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」を活用した教材提示後に、次の発問をする。 <p>T：つるを伸ばしたかぼちゃはどうなっていくのか、考えましょう。</p>	<p style="text-align: center;">デジタル教科書・教材の活用</p>  <ul style="list-style-type: none"> ●「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「教材の解説」を開き、教材の概要（あらすじ、登場人物紹介）を確認する。  <ul style="list-style-type: none"> ●「動画」 ボタンをクリックし、教材を動画で提示する。 

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
展開	<p>『かぼちゃの つる』を読んで、わがままや自分勝手な行動をしないことの大切さについて考える。 〔かんがえよう〕</p> <p>T：みんなが言っていることを聞かずに、かぼちゃがつるを伸ばし続けたのは、どうしてでしょう。</p> <p>C：自分勝手だから。</p> <p>C：わがままだから。</p> <p>T：どうすればよかったか、かぼちゃに教えてあげましょう。</p> <p>C：注意されたときにやめればよかったね。</p> <p>C：ほかの人の迷惑になることはやってはだめだよ。</p> <p>C：わがままを言うてはいけないよ。</p> <p>わがままや自分勝手な行動をしないことの大切さについて、自分のこととして考える。 〔ふかめよう〕</p> <p>T：かぼちゃからどのようなことを学びましたか。みんなで話し合ひましょう。</p> <p>C：わがままをしてはいけない。</p> <p>C：わがままだと自分にもバチが当たるかもしれない。</p>	<p>●「指導者用デジタル教材」教科書紙面を提示しながら、どこからどのように考えたかをマーカーで示してもよい。</p>  <p>●「学習者用デジタル教材」の「考えよう」の部分をクリックしてワークシートを表示させ、ペンツールで記入させる。</p>  <p>●「指導者用デジタル教材」のツールバーから「思考ツール」を立ち上げ、メニューから「ウェビング」を選択し、出された意見をまとめていく。</p> 
	まとめ	<p>本時の学習を振り返る。</p> <p>T：今日の学習で学んだことを振り返りましょう。</p>

指導者用デジタル教科書(教材) 活用の実際

教材提示場面での活用

授業の導入時、教材提示場面において、デジタル教科書の機能を活用する。具体的には、①「指導者用デジタル教材」の二次元コードから「教材の解説」を開き、教材の概要（あらすじ、登場人物紹介）を確認する。②二次元コードの下にある「動画」ボタンをクリックし、教示を動画で提示する。そのあとに、「つるを伸ばしたかぼちゃはどうなっていくのか、考えましょう。」と問う。



指導者用デジタル教科書(教材) 活用の実際

板書の代替機能として、教科書の紙面をモニタやスクリーンで写しながら、紙面にマーカーを引いていく。

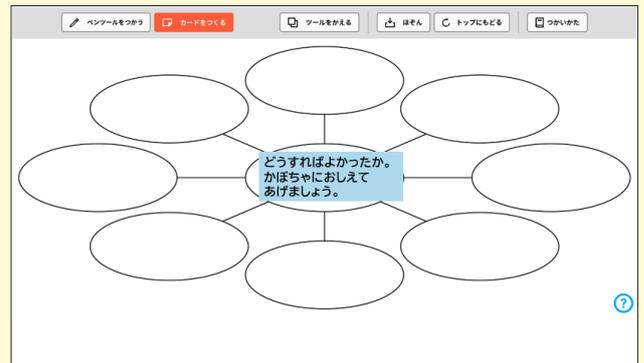
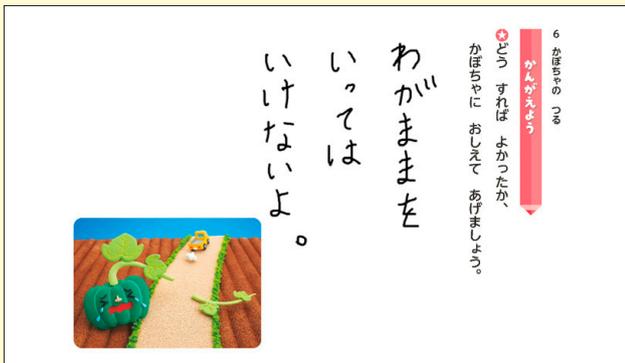
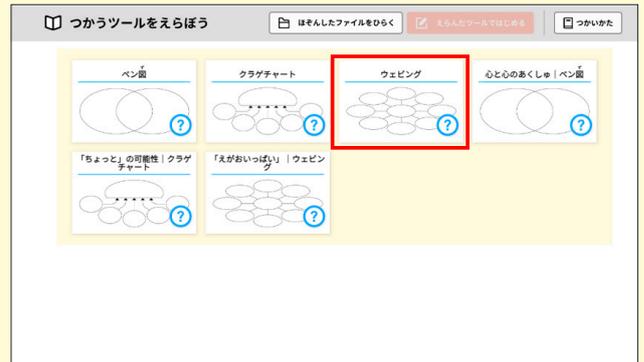
具体的には、「みんなが言っていることを聞かずに、かぼちゃがつのを伸ばし続けたのは、どうしてでしょう。」という発問のあと、発言させる際に、教科書の紙面を提示しながら、「どこからどのように考えたか」と補助発問をし、該当部分をマーカーで示していく。



「学習者用デジタル教材」でワークシートに記入させたあと、板書として「指導者用デジタル教材」の「思考ツール」を活用する。

まず、「学習者用デジタル教材」の「考えよう」の部分をクリックしてワークシートを表示させ、ペンツールで記入させる。学習支援ソフトウェアを用いて、児童が記入したワークシートの一覧をモニタ(スクリーン)上に投影することも可能である。

その後、児童の発言を整理しながら板書する際に、「指導者用デジタル教材」の「思考ツール」から「ウェビング」を選び、児童の発言を枠内に「ペンツール」で記入していく。



指導者用デジタル教科書(教材) 活用の効果

『朗読』や『動画』機能の活用

教材提示の場面において、従来の音声CDを用意するまでもなく、『朗読』や『動画』機能が簡単に使用できる。特に『動画』機能は、「指導者用デジタル教材」にのみ備わっている機能であり、教師は児童の表情や集中度を確認しながら授業を展開することができる。

ワークシートや思考ツールの活用

「学習者用デジタル教材」には、発問部分に対応したワークシートが用意されているため、「ペンツール」を使用してそのまま書き込むことができる。また、ベン図やクラゲチャート、ウェビングといった「思考ツール」も用意されているので、協働学習や板書の代替機能として活用できる。